



2025 年 9 月 5 日

各 位

会 社 名 ホ ク ト 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 水野 雅義
(コード番号 1379 東証プライム市場)
問合せ先 広報・IR 室 前田 哲志
(TEL. 026-259-5955)
(URL <https://www.hokto-kinoko.co.jp/>)

ホクト株式会社、一般社団法人 Es、株式会社アーバンリサーチが
サステナビリティ分野で連携

椎茸栽培時に発生する茶色い液体を染料としてアップサイクル

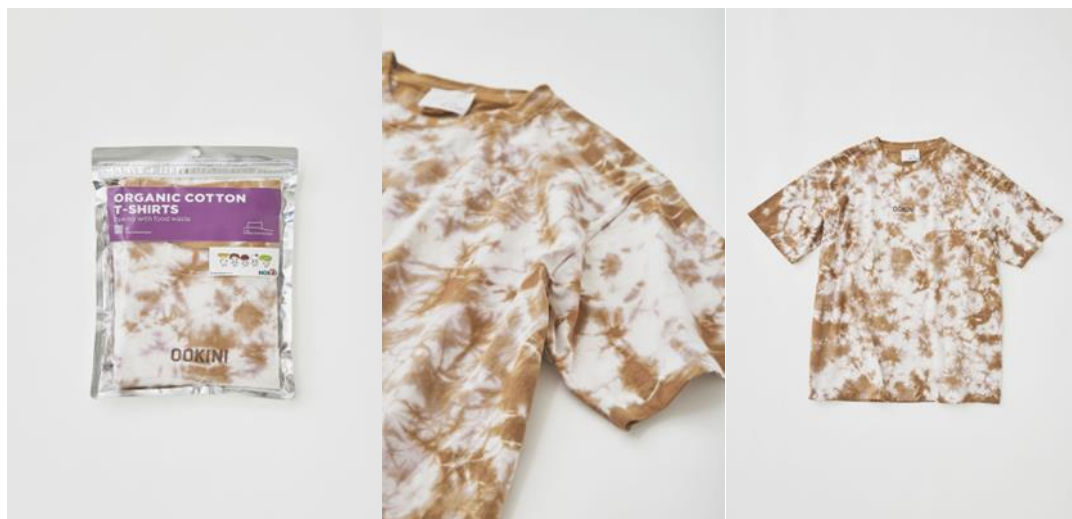
ホクト株式会社（所在地：長野県長野市、代表取締役社長：水野雅義）では、同社のプレミアムきのこである「一番採り生どんこ®」の栽培時に発生する茶色い液体を衣類等の染料としてアップサイクル※することといたしました。



© 2002 HOKUTO/H/T



「一番採り生どんこ®」の栽培に関わる作業員の衣服に茶色い液体が付着した場合、洗濯しても落ちないことに着目し染料としての活用に踏み切りました。該当の染料は商品名を「椎茸カラー」とし、一般社団法人 Es（代表理事 下田英吾）と共同開発の結果商品化の運びとなりました。



株式会社アーバンリサーチは全国に店舗をもつ大阪発のアパレル企業で、ファッションを通して経験やアクティビティを提案しており、同社によって商品化された T シャツは 9 月 5 日(金)より URBAN RESEARCH EXPO2025 STORE にて販売されます。

今回の取り組みは普段廃棄していた原料のアップサイクルとして行いました。ホクト株式会社では、SDGs の重点活動のひとつに「気候変動への対応」と「資源の有効活用・循環（持続可能な調達）」を掲げています。太陽光発電や LED 照明の導入、電力制御などを通じて CO₂排出量の削減を図るほか、プラスチック使用量の削減や、きのこ栽培後の使用済み培地を活用した発電など、資源の再利用にも力を入れることで、循環型社会の実現と持続可能な未来をつくる活動を推進しています。

異業種コラボによる商品化を実現した各社では、本取り組みを皮切りにサステナビリティ分野での連携や新たな価値を提供できるよう取り組みを進めていく予定です。

※「アップサイクル」とは、きのこ栽培などの過程で生じる未利用資源を再活用し、環境負荷を低減しながら、新たな価値を創出する取り組みを指します。

以 上